



有限会社 近藤鉄工所 様

<http://www.knd-tekkou.co.jp/index.html>

近藤社長

従業員：約10名

鉄鋼・建設

稼働率はなんと驚異の**80%超え**！
「導入したマシンは最大限使います。今ある設備をいかにフル活用するか常に考えています」

My V-factory ご利用コンテンツ



稼働実績



時間別稼働状況

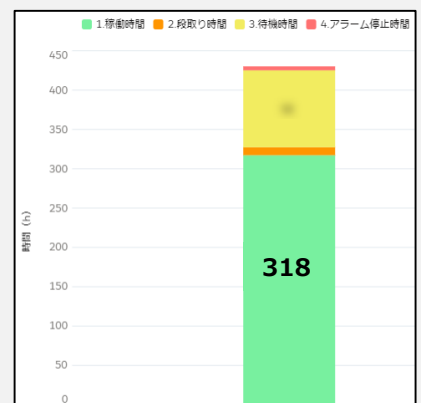


ENSISの単体機なんですけど、多いときは**月320時間**くらい動かしていました。はじめに入れるとき、当時のアマダの営業さんと1日5時間×20日 = 100時間/月動かしたコスト試算をしました。実際使いはじめてしばらくしてみると、感覚として5時間ってことはないなと思ったんです。V-factoryにつないで実際の稼働時間を見てみると、1日13時間、多いときは約17時間も動かしていました。そのときから月何時間動かすべきかと考え始め、**稼働時間の最大化**がひとつのテーマになっています。

板厚でマシンを使い分けてはいますが、こだわってはいません。納期が最優先なので、板厚が集中してひとつのマシンで仕事がつまっていればすぐにプログラムを書き換えます。

今はブランクはENSISしかつないでいないので、全体の仕事の割り振りは私が管理しています。アマダ以外のマシンも一元的に見えて、管理できたらいいなと思います。

【ENSIS(単体機)の稼働時間】
 318時間/月稼働
 (剣山式レーザー単体機稼働時間平均は約70時間/月)



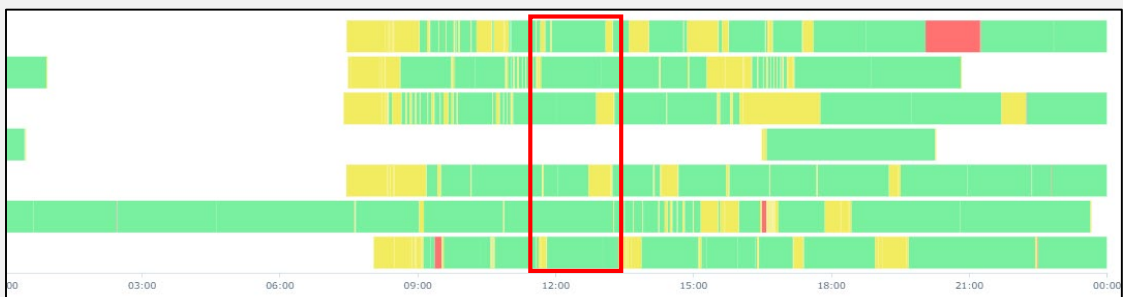
V-factory Discovery News



いかにフルで動かすか？単純ですが昼休み前や終業前には長いプログラムをかけ、人がついている間は手離れのいいものをするということを基本にしています。電気代がもったいないから昼休みは電源を落とすというところもあるみたいですが、それも生産時間にしてしまえばいいですね。

【ENSIS(単体機)の時間別稼働実績】

実際にお昼休み前に1,2時間程度のプログラムをかけているのがわかります(緑：稼働時間)



オペレーターは、各マシンの中でのプログラムの順番を考えるくらいです。どの仕事をどのマシンでいつやるか、という会社全体の仕事の平準化はプログラムの出し手が考えています。

フル活用できているのか？
運用の実態を把握するためにも
マシンの稼働が“見える”ということは
重要だと思います。



アマダ営業担当 小瀬村さんと

お客さま担当営業所より

(有)近藤鉄工所様にはいつも快くお付き合いをさせていただき大変感謝しております。My V-factoryを導入されてから、稼働実績が可視化されたことで、昨日より今日、今日より明日と、より稼働率を高めようとするお客さまの熱意を日々感じております。今後もお客さまの「儲かる環境」づくりにお役に立てたらと思います。